

### これが読めないと、合格できません！

A判定やB判定を取っていても、合格できない生徒には共通点があります。非常に簡単な事で、このHPに挙げている「受験勉強案内」を読めない人ですね。受験の技術的な問題ではなくて、精神的に「合格するために必要なもの」を受け付けない生徒がいます。

このHPは生徒募集の意味でも作ってあります。しかし、「合格できない生徒」には入会して欲しくないのですね。お互い不幸になりますから。もちろん、何度も言いますが、「合格できる生徒」とは「成績優秀者」の事ではありません。A判定やB判定を取っていても、合格できない生徒はいるのです。今までは、それを「情報を知らない」という進路指導面からの指摘をしてきました。いくら偏差値が上がっても、合格しない。つまり、教科指導だけでは足りないのです。そこで、学校が行っているように進路指導も充実させています。ところが、そこまでやっても、過去20年間の指導で、A判定、B判定でも合格しない生徒が出てきます。問題は、「生活指導」という「三種の神器」の最後の一つとなります。

2015年に、久留米自習室から九州大学に合格した生徒の話です。九大は常にA判定というとても優秀な生徒であり、塾や予備校などに行く必要性がないように見える生徒でした。ところが、防衛大学に合格できずに、慌てて入会してきました。最初は私も原因不明で、困惑しました。しかし、すぐに「生活指導に問題があり」と理解できました。自習室で、自分の席になかなか座れない生徒だったのです。トイレから戻って来たかと思うと、自動販売機のところに行き、また戻って来たかと思うと、今度は本棚へ行く。いつまで経っても、自分の席に座れないわけです。つまり、家庭や学校と違って、見知らぬ同級生たちがいる空間では平常心を保てなかったのですね。それが試験会場でも出てしまっ、学校で模試を受ける時のような全力が出せなかった。よく、「家や学校では問題のない子なのですが」と親は言われますが、塾や予備校では問題だらけの生徒はいます。それは、入試当日も出てしまいますので、筆記試験はもちろんですが、面接試験は特に厳しい結果になります。その生徒は「生活指導」が効きましたので、それから自習室で勉強できるようになり、センター試験、二次試験と落ち着いて得点を重ねましたので、合格しました。

ところが、この生活指導を受け付けない生徒もいるわけです。「合格できない生徒」ですね。そういう生徒が入会しないように、こういう「受験勉強案内」を出しています。去年は、久留米市内の広告にも出していました。そうしますと「合格できない」親子は、こういう文章を読める「心」がありませんので、入会は最初から拒絶します。久留米自習室は70名しか入らない席数ですので、他の塾や予備校のように、100名も200名も集めてワイワイガヤガヤやるようなところではありませんから、少数精鋭で良いのです。「ピーン」と静まり返った空間で、カリカリと鉛筆を走らせている音だけが聞こえてくる場所です。東京大学のA判定やB判定を取って、態度が豹変する生徒は過去にたくさん見てきましたが、合格できていません。間違っ、入会してくる「合格できない生徒」がいますが、すぐに怒り出して退会します。過去の合格できなかった生徒たちの話を含め、1000枚の受験マニュアルとして読ませていますから。合格する「心」がないと、読むことはできないのです。